

提案事項

1. 業務実施体制

※様式自由・A4判（枚数制限なし）

- ① 業務実施にあたっての人員配置方針及び実施体制を記載すること。（各担当者の配置条件については、別紙②を確認すること。）
- ② 実施体制については、図表等を活用し、本業務のチーム体制、指揮命令系統、従事人数、各担当者（氏名、所属、役職、資格等）の配置及び担当業務内容等を分かり易く記載すること。なお、業務段階に応じて実施体制を組み替える場合は、業務段階ごとにその実施体制を示すこと。
- ③ 本業務の一部を第三者に再委託する場合は、当該第三者の概要・業務実績及びその業務内容等について記載すること。
- ④ 本業務に関して、第三者から助言・協力を受ける場合は、当該第三者の概要・業務実績及び助言・協力内容等について記載すること。
- ⑤ IRは、新たな法制度下での国内に事例のない事業分野の展開であり、また、海外法人の事業参画による国際的な大規模投資事業となることが見込まれることから、業務推進にあたっては、海外IR事業・国際投資事業に関する知見やアドバイザー業務等の実績・経験及びグローバルな情報ネットワーク等の活用が欠かせない。この点、担当者等の配置及び協力者等からの支援体制等、的確かつ円滑に業務を行う上での実施体制の工夫について提案すること。

2. 担当者等の実績・経験

※様式8・A4判（枚数制限なし）

- ① 各担当者の有する資格・実績・経験等を記載すること。（各担当者が有すべき資格・実績要件については、別紙②を確認すること。）
- ② 各専門分野における資格を有している場合は、記載の上資格を証明する書類（写し）を添付すること。
- ③ 本業務実施にあたりアピールできる業務経験・表彰・論文発表等について記載すること。特筆すべきものがあれば、加点の対象とする。
- ④ 各担当者の業務実績については、業務を実施していることが確認できる資料（契約書、成果品のコピー等）又は証明する書面を添付すること。
- ⑤ 業務主任者及び担当者については、業務実績件数も審査対象とするため、実績を有する場合は3件まで記載すること。
- ⑥ 別紙②の2(6)ア及びイに規定する業務経験については、守秘義務等の観点から、発注者名や個別案件名等を伏せることを妨げないが、どのような業務経験を有するのかが分かるよう適宜記載を工夫すること。

3. 業務実施方針

※様式自由・A4判・片面6枚以内

- ① 本業務の実施方針、業務フロー及び概略工程について示すこと。
- ② また、各業務項目について、業務項目ごとの業務手順を示すとともに、業務実施にあたっての配慮事項や課題認識について記載すること。
- ③ 国におけるIR実施法及び関連政省令・基本方針等の制定・公表時期やその内容が本業務の業務工程等に影響を与える可能性があることを踏まえ、本業務の遂行にあたっての留意点及び重要となるポイント等を示し、本業務を的確かつ円滑に進める上での対応方針を提案すること。
- ④ 利益相反行為の防止、機密保持及び情報管理に関する応募者としての対応方針について提案すること。

4. 特定テーマに関する提案

【特定テーマ1】大阪IRの事業環境・潜在市場規模の検討・分析について

※様式自由・A4判・片面3枚以内

- ① 「大阪IRの事業環境・潜在市場規模」について、その特性について仮説を述べた上で、具体的な調査・分析の手法（収集データの種類、調査範囲、データ収集方法や算定・分析ロジック等）及び実施プロセスについて提案すること。

【特定テーマ2】大阪IRの事業性の検討・分析について

※様式自由・A4判・片面3枚以内

- ① 「大阪IRの事業性の検討・分析」について、具体的な実施手順を提案すること。
- ② また、大阪IRの収益構造・ビジネスモデルについて、これらを検討する上で重要となる視点・ポイントや想定される特性等について考え方を示すこと。
- ③ 併せて、事業者公募にあたり、民間事業者に求める最低投資額及び再投資条件の要求水準をどのようなアプローチで導き出すか、具体的な検討手順を提案すること。

【特定テーマ3】新たな国際観光拠点形成に向けた都市機能・まちづくり方針等のあり方等の検討

※様式自由・A4判・片面6枚以内

- ① 「夢洲まちづくり構想」では、“SMART RESORT CITY”をコンセプトに、国際観光拠点形成のための都市機能・まちづくり方針等について、取組みの方向性を定めている。これらを踏まえ、特に、“ICT・IoTを活用したスマートなまちづくり”“エリアマネジメント”“イノベーションにつながる最先端技術のショーケースとなるエリア形成”の観点から、効果的・効率的に都市機能の整備やまちづくり等を進める上で、どのような事業枠組（事業スキーム・公民及びIR事業者の役割分担・実施体制・推進手法等）が想定されるか、複数パターン提案すること。
- ② 併せて、各案のメリット・デメリットや実現課題について述べるとともに、具体的な事業化（事業枠組の決定・構築）に向けどのようなアプローチで取組んでいくか、具体的な業務プロセス及び業務実施上の工夫を提案すること。
- ③ また、本業務に取組むにあたり、大阪独自の新たな成長型IRモデルを生み出す上で、IRに付加価値を生み出す仕組みづくりや事業者の優れた提案を引き出すアイデアがあれば提案すること。

【特定テーマ4】IR事業者の公募プロセスについて

※様式自由・A4判・片面3枚以内

- ① 適切な公民パートナーシップを構築しながら、民間事業者の優れた提案を引き出していく上で、RFC、競争的対話手法、多段階選抜方式の活用等、公募プロセスにおいてどのような工夫が必要と考えられるか提案すること。
- ② また、IR事業やIR法制度の特性を踏まえ、公募プロセスを検討する上での留意点・課題認識等について記載すること。

5. 応募金額

※様式9

- ① 応募金額提案書には、年度別かつ業務項目別の見積額及び合計の見積額を記載すること。
- ② 各年度及び各業務項目に係る応募金額の提案は、公募要領1(5)「委託上限額」を超えないこと。
- ③ 業務項目ごとの内訳（項目、工数、単価、金額等）を記載した積算内訳書（様式自由）を別途添付すること。